



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより 7号
校長 芹澤 敏光
令和5年10月31日

AIと教育

校長 芹澤 敏光

紅葉の便りが各地から聞かれ、ようやく秋らしさを感じるようになりました。

さて先日、棋士の藤井聡太さんが、将棋界のタイトル八冠を独占したことが大きな話題となりました。藤井さんのこの活躍は、人間のもつ可能性の奥深さ、素晴らしさに非常に驚かされます。一方でAI搭載の将棋ソフトも目覚ましい進化を遂げ、最近ではソフト同士を戦わせることによって超一流のプロ棋士の実力を凌駕するまでになっています。将棋ソフトの開発者によると、藤井さんでも将棋ソフトに勝利する確率は、数字上は1%未満になるということのようです。藤井さんをはじめ、一流のプロ棋士の方も、将棋ソフトを活用した研究が今や不可欠です。そのような中で藤井さんの凄いところは、将棋ソフトのAIは手を網羅的に調べるところ、ピンポイントに良い手だけを読む藤井さんの方が上回る時があるということだそうです。

ところでこのようなAIと人間との関りは、将来的な教育の姿への興味を膨らませてくれます。現在もチャットGPTが教育に及ぼす影響が関心を集めていますが、今後AIを搭載したコンピュータが教育をどう変えるか、研究が急速に進んでいくことでしょう。

AIのさらなる進化によって学校現場でも目覚ましく効率化が図られたり、授業のスタイルなども今から想像もできないくらい変化していったりするのかもしれない。しかし教育の一番の中心的なところには、様々な人間関係の中

での人間同士の感情を伴う関わり、その積み重ね、心の触れ合いということが基盤にある以上、AIが導き出す「解答」が最善とは限らないことのほうが多いのではないかと考えてしまいます。ただ、今のこのような考えを凌駕するくらいにAIが進化していくのかもしれない。決して人間とAIとの勝ち負けの問題ではないとは思いますが、数十年後、百年後の教育の姿を見てみたい気がします。



【1 学年校外学習】

1 学年の総合的な学習の時間のテーマは「地域で学ぶ」です。府中市の歴史を学ぶことで郷土への理解を高めることをねらいとしています。10月13日（金）は、班ごとに西府駅を出発し府中本町駅または分倍河原駅で下車、府中市観光ボランティアの会の協力をいただき丁寧な解説を基に史跡巡りをしました。また、保護者の皆様には引率のご協力をいただきありがとうございました。午後は事後学習を行い後日はまとめを発表しました。



【認証式】

10月から後期生徒会活動が始まりました。各種委員会の委員長は前期が3学年でしたが後期からは2学年になります。写真は認証式の様子です。皆さん頑張ってください。



【和太鼓授業】

音楽科の授業では、第3学年で武蔵國府太鼓國府睦會から3名の講師をお迎えし、全3回シリーズで和太鼓の授業を行いました。この授業の目的は、「日本の伝統的な和太鼓の音色に親しみ、基本的な奏法を身に付けよう。」というものです。本校には表胴宮太鼓1張 長胴宮太鼓1張 長胴太鼓4張あります。9月下旬から各クラスで3回の授業を実施し、最終回では講師の演奏を鑑賞しました。



【道徳授業地区公開講座】

10月28日（土）の学校公開日では、2校時に各教室で道徳の授業を行い、3校時は武道場で東京都教職員研修センター 研修部 授業力向上課 教授の森岡 耕平先生による講演会を行いました。森岡先生には昨年度から継続して講演会を依頼しています。今回は「コロナを超えた子どもたちを見つめて」という題で講演いただきました。道徳とは生き方について考える授業であり、人を信じることは互いの違いを受け止めることから始まるということ学びました。



【生徒の活躍】

アスリート部 第76回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会 都大会出場
共通男子800メートル 3年1名
3年男子110mジュニアハードル 3年1名
バレーボール部 第9ブロックバレーボール新人大会 優勝 都大会出場決定